

## 推進協議会準備会を開催



▲協議会には町内外から20団体以上の方々に参加して頂き、多くの関係機関で協力して取り組んでいきます。

3月5日、只見町役場において只見ユネスコエコパーク推進協議会の準備会を開催しました。これは、本年6月に只見ユネスコエコパークが登録される予定ですが、登録が決定すると同時にユネスコエコパーク全般の管理と事業を調整する推進協議会（仮称）を立ち上げる必要があり、登録後のスムーズな立ち上げと円滑な運営を図るために今回準備会を開催しました。

準備会では、これまでの取組みについての説明や、推進協議会会則案の提案とそれに対する意見交換などを行いました。

3月5日、只見町役場において只見ユネスコエコパーク推進協議会の準備会を開催しました。これは、本年6月に只見ユネスコエコパークが登録される予定ですが、登録が決定すると同時にユネスコエコパーク全般の管理と事業を調整する推進協議会（仮

称）を立ち上げる必要があり、登録後のスムーズな立ち上げと円滑な運営を図るために今回準備会を開催しました。

目黒町長はあいさつで「ユネスコエコパーク決定後は自然環境・生物多様性の保護・保全を図りつつ、地域資源を持続可能な形で利活用し、社会経済的な発展を目指す事になりますが、成功させる為には町民参加が必要不可欠です。そのためこの協議会が非常に重要な場になるとを考えますので皆様のご協力をお願いします」と述べました。



▲修了証を持ち記念撮影



▶この2年間を振り返り、それぞれが

3月6日、只見地区センターホールで地域人材育成ダイヤモンドプラン事業「ふるさと見・人材育成講座」第4期生の閉講式を行いました。4期生は「伝統文化クリエーターの育成」というテーマで2年間講座に参加され、今年度は20回を超えるカリキュラムを行いました。

受講生は講座を終えて、「今まで只見の伝統文化について勉強したいと思っていたがなかなかその機会が無かつた。この講座に参加し多くの事を学ぶことができて、さらに只見町の素晴らしさを知り只見町が好きになった。これからはガイドなどをを行い、多くの人に只見の良さを知ってもらえるよう取り組んでいきたい」など発表されました。

発表者の多くが、この講座で学んだことを活かし、また今後も伝統文化を学んでいたいという意見を発表されました。ぜひ受講生の皆さんにはこの分野のスペシャリストになつて欲しいと思います。

また、町内の方々から聞き取りをさせて頂きまとめた「只見町 川と人の物語」も併せて配布させて頂いておりますので、各世帯でご確認頂き配布漏れ等ございましたら町民生活課までご連絡をお願いします。



▲全戸へ配布させて頂いた記録誌等

## 記録誌を全戸配布

町では、平成23年7月豪雨災害を記録し、後世に伝えると共に、今後の防災対策等に活用して頂くため「平成23年7月只見町豪雨災害の記録誌」を作成し全戸に配布させて頂きました。



▲「只見線復旧復興基金」へ今回寄附をされた豊島区立千川中学校59年卒業生(右)と同校57年卒業生の皆さん



▲「只見線復旧復興基金」へ今回寄附をされた豊島区立千川中学校59年卒業生(右)と同校57年卒業生の皆さん

JR只見線早期復旧のため  
にと只見町出身で元中学校教員の目黒信さんは教え子と共に「只見線復旧復興基金」に10万円を寄付されました。

目黒さんは現在、只見町と

埼玉県川口市での2地域居住

生活を行い、只見町のガイドやダイヤモンドプラン事業に参加されるなど只見町をPRする活動に取り組んでおられます。

教員として最初に赴任され

た東京都豊島区立千川中学

校の57、59年卒業生の同窓会

に出席された際、只見線の現

状を説明すると、教え子の皆

さんは快く募金に応じられ目

黒さんの善意も加え今回の寄

付となりました。



▲来町記念にヒロコで作ったバッグをプレゼントしました

## 只見線復旧基金に10万円を寄附

JR只見線早期復旧のために

## 竹下景子さん来庁

只見線の早期復旧を願う

## 手作り遊具をプレゼント

民生児童委員が

## 優秀賞など受賞

町内小・中学校



▲みんなで大事に使って下さい

3月19日、女優の竹下景子さんが只見町役場を訪れました。竹下さんは前日金山町で開催されたシンポジウムにスペシャルゲストで参加され、ご本人の希望により翌日只見町に来られました。

目黒町長との会話の中で「JR只見線が早く元通りになることを願います」と話され、この日の午後には只見線に乗る企画に参加されるなど只見線のPR活動を行われました。

これは、毎年民生委員の方々が子供たちの為にと遊具などを手作りし3地区の保育所にプレゼントを行っているもので、子供たちはプレゼントを貰うとともに嬉しそうでお返しに歌のプレゼントをしました。

2月28日、朝日保育所に朝日地区的民生児童委員が訪れた。バスマットと牛乳パックを材料に手作りしたままごとなどに使える「ついたて」をプレゼントしました。



▲表彰状を持つ各校の先生方

今年度の教職員研究物展において算数の研究や郷土愛を育む研究などで只見小が優秀賞、朝日小が特別優秀賞、明和小が奨励賞を受賞されました。

また、只見中は日頃の食育への取り組みが評価され福島県内の中学校では唯一食育推進実践校表彰優秀賞を受賞されました。